

SOYOKAZE

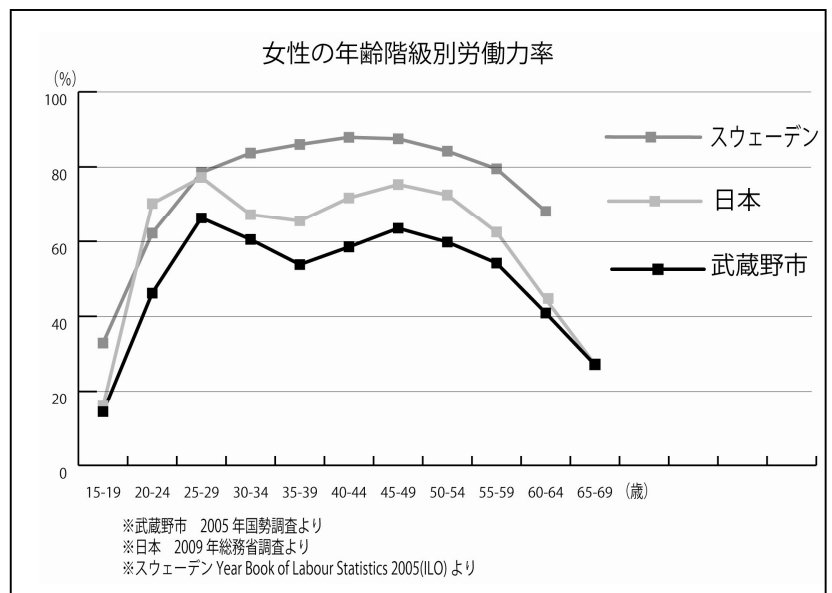
そよ風

Vol.36

2010年7月25日

【目次】

- P1 * トピックス
M字曲線
- P2 * 講座報告
 - ・「暮らしの女性学2010」
 - ・「女と男のトレンド社会学」
- P3 * 「パブリックコメント勉強会」
 - * 2009年度学習記録誌発行紹介
 - * 平成21年度事業概要発行紹介
 - * 男女共同参画週間記念・パネル展示
- P4 * 平成22年度運営協議会委員紹介
 - * これから行う講座のお知らせ
 - * 又エックのワークショップ参加
- P5 * ホームページのリニューアル
 - * 悩みごと相談案内
 - * 団体登録のお知らせ
 - * センタースタッフ紹介
- P6 * 図書紹介、貸出案内



トピックス

M字曲線 — 日本女性に特徴的な労働傾向 —

日本の女性の労働力人口比率を年齢階級別にグラフにすると、30歳代を谷として、アルファベットのM字カーブを描くことからM字曲線と言われます。これは、妊娠・出産を契機に仕事を辞め、子育てが一段落したら再就職する女性が多いことを表しています。アメリカ、スウェーデンなどには見られない特徴で、日本では働く女性の7割が就業を中断しています。〔上図グラフ参照〕

女性が働き続けることができにくいのは、産休・育休・時短勤務などの制度を思うように利用できない、職場の理解が得られない、また保育園に入れない等、働き続けるための条件が整っていないことが原因です。また「子育ては女性が担うもの」という性別役割意識が男女双方に根強いことも原因の一つと思われます。

2010年版「男女共同参画白書」には、「日本は高等教育を受けた女性の就業率が、OECD加盟国30か国中29位」とあり、特に、大学・大学院卒業者については、「結婚や出産、育児を機に

仕事を辞め、その後も労働市場に復帰しない者の割合が高い」と述べられています。

武蔵野市の場合もM字の切れ込みが深く、労働力比率の推移は20代後半をピークに下降し、30代後半にはやや上昇しています。しかも、全国平均よりもかなり低く、すべての年齢層で働いていない女性の割合が高いという調査結果があります。

スウェーデンのようにグラフが台形を描く背景には、仕事と子育ての両立支援政策、フルタイムとパートタイム労働の転換、女性の高学歴化の進展などがあるとされています。

女性の働きやすい環境は、男性にとっても快適な職場だと、すでに各国及び日本の一部の企業で実証されています。女性の能力を労働市場にどう生かしていくか、これからの課題ではないでしょうか。



報告Ⅰ

誰かのためだけではなく、自分のことも…

女性セミナー「暮らしの女性学 2010」

全6回(5/25~6/29 午前10:00~12:00)	
第1回	女性学を学ぶ意味
第2回	祖母や母たちが生きた時代と今
第3回	私の人生、家事・育児のためだけ?
第4回	ママ友つきあいは意外とタイヘン!
第5回	働きたい!でも、働けない…。その理由は?
第6回	これからどうする?主婦から離陸した人…私の場合

講師・進行：むさしのヒューマン・ネットワークセンター長 下村美恵子

5月25日(火)から6回連続で実施した講座「暮らしの女性学2010」では、家事・育児だけでなく、改めて自分の生き方を考え、自分自身を大切にしようとするさまざまな角度から学び合いました。約20名の女性が熱心に受講し、5名の方が子どもを一時保育に預けて学び続けました。その子どもたちもだんだんお友だちになっていき、「もっといたい」と言うようになり、微笑ましかったです。

女性が主体的に生きていくために、個人と社会の関係を問いながら、次世代にどのような社会を引き継いでいきたいか、参加者同士の話し合いも活発に行いました。共同で学び合うことの大切さ、また祖母や母たちが生きた時代のことを知るなど、改めて私たちの暮らしが政治・政策と密接に関連していることも確認しました。

生活に根ざした小さな部分から男女平等、男女共同参画を進めていくことの大切さと、学びを日々の暮らしの中に活かしていく実行力、行動力が必要なことを認識できたようです。

参加者の感想は…

★「女性学」を学ぶのは初めてでしたが、下村さんのお話は日頃感じていた性差別感にとてす〜と入ってきました。6回の講座にがんばって出席することから、社会復帰しようと思いました。(参加者Bさん)

★「母親一人に子育てを負わせている現実社会は『性別分業』の歪みの一断面ではないか」という言葉に「そうそう、その通り!」と思いました。公園では子ども同士のケンカやおもちゃの取り合いなどで、母親同士がとても神経を使ったりしています。(参加者Fさん)

★「ママ友つきあいはタイヘン!」いろいろなお話ができて楽しかったです。下村さんのおっしゃる通り、他者との共感を得ることは大きな力になると思います。相手を気にしながらのママ友つきあいと違って、今回の講座のような場所は、自由に話ができるので、皆さんの意見を聞いたり、話したりするだけでも気持ちはずっかります。(参加Gさん)



【ハイ! 私はこう思います、と積極的な発言とそれをじっくり聞く参加者】

イマドキの女と男の生き方を考える

報告Ⅱ

女と男のトレンド社会学

「日常にひそむオトコ意識」～気づくことで見えてくること～

ゲストスピーカー：東京大学大学院教授 瀬地山 角さん

6/26(土)

午後1:00~3:00

はじめに講師の瀬地山角さんから、自分自身の、あるいは夫や周囲の男たちの「男らしさ」チェックをしてみてくださいと15項目が提示され、参加者はそれぞれ考えてはその数の多さにびっくりしていました。少子高齢社会到来となり、男女の役割分担も変化してきているいま、一頭立て馬車で働く男性も実は大変で、近年増加している自殺者の多くは働き盛りの男性であり、これは深刻な男性問題であると話されました。

「植林をする林業者と植林をしない林業者」を例えに、植林をしない林業者の方がコストが低くてすむので、短期的には低価格で材木を提供できて儲かるが、将来ハゲ山だらけになってしまう、つまり子育てをしない身軽な人ばかりを企業が雇用していると、将来の日本は悲惨な状況になる、男性たちよ肩の荷を降ろそうとのお話に、参加者一同「まったくその通り」とうなづいていました。

後半は隣り合わせた3人ずつで、瀬地山さんのお話を受けて15分ほどフリー・トークをした後、順に発表してコメントをいただいていくというワークショップをしました。瀬地山さんは終始、歯切れのよい軽快なテンポで、ユーモアを交えながら、いろいろな問題を凝縮して提起され、改めて考えさせられました。参加者は熱心に聞き入り、充実した2時間だった、楽しかったとそれぞれ口にして帰りました。



「パブリックコメント勉強会」

3/13(土)
午前10:00~12:00

～企画・ファシリテーター：三上かおり（センター運営協議会副会長）

4月に、内閣府から「第3次男女共同参画基本計画策定に向けて(中間整理)」が発表されました。この中間整理には、これまでの計画への反省とその対策が盛り込まれるなど、実効性のある計画をめざしていくことが打ち出されています。

そのためには、ポジティブ・アクションやクオータ制の導入を積極的に進めていくこと、また男性や男児にとっての男女共同参画などの推進がうたわれています。

そして今年中に策定される新たな基本計画に向けてパブリックコメントが募集されている(5月12日まで)ことを受け、当センターでも勉強会を行いました。

数十ページにわたる計画書を読み込むのはたやすいことではなく、時間もかかりましたが、研究者らによるコメント等を参考に読み進めて討議した結果、私たち自身が計画文書を読み込む能力を高め、パブリックコメントへのモチベーションを向上させることができました。これを国や自治体に対して地域の意見を反映させるきっかけにしたいと、6名の市民が集まって熱心に勉強をしました。

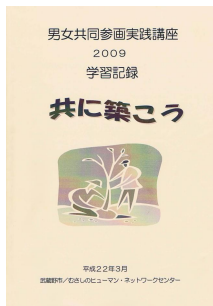


学んだことが記録誌に

男女共同参画実践講座2009学習記録 『共に築こう』

『平成21年度事業概要』

2009年度に実施した17回連続講座「男女共同参画実践講座—共に築こう」の学習記録誌が完成しました。6月12日、全214ページのかかなり分厚い冊子を手にとり、受講生同士でひととき歓談しました。「もう一回学び直したい」「自分の思いをまとめるいい機会になった」「これは教科書になる」「これは私にとってかけがえない財産」など、いろいろな意見が出ていました。より多くの人に読んでいただけるよう、全国の主なセンターや都内のセンターにも寄贈しました。受講生以外からも、ぜひ読みたいと希望する方もいて、反響の大きさに驚いています。貸し出しもしていますので、お問い合わせください。



むさしのヒューマン・ネットワークセンターの沿革や昨年度に実施した各種の講座や、所蔵している図書等の情報提供状況についてまとめたものです。当センターの1年間の取り組みや施設についての状況を詳述しています。この施設概要を通じて、センターの取り組みを多くの人に知ってもらえればと思います。



平成22年度男女共同参画週間記念・パネル展示

今年もやりました！

見つけよう！私のワーク・ライフ・バランス

～仕事と生活の調和～

■期間：6月23日(水)から30日(水)正午まで ■場所：武蔵野市役所1階ロビー

毎年6月23日から6月29日の1週間は男女共同参画週間です。この期間は、男女共同参画社会の実現を推進するため、平成13年に設けられました。そして今年は、1面トピックスにも掲載したM字曲線に関連した『ワーク・ライフ・バランス』をテーマに展示を実施しました。たくさんの方が足を止めて見入っていました。



【パネルや資料に熱心に見入る展示会場の様子】

平成22年度新運営委員決まる

4月24日に行われた総会で、右記の通り新年度の運営委員が決まり承認されました。22年度の事業実施方針や予算なども決め、協議会の今後について、その在り方を検討する勉強会や、これからのセンターについての勉強会なども行うこととし、市と協働で男女共同参画推進のかじとりとして、心も新たに出發しました。



【6月に行われた運営委員会の様子】

平成22年度運営委員一覧

	氏名	団体名
1	中川 瑛子	個人
2	栗原 毅	個人
3	三上 かおり	個人
4	木下 章子	個人
5	向井 一江	個人
6	岩城 末子	個人
7	原 利子	個人
8	大島 登志子	グループ創
9	桑田 知子	ハートボラネット
10	内藤 博子	日本パシイワ
11	岡橋 葉子	NPO法人 むさしの経営パートナーズ
12	砂川 直美	個人
13	土屋 美恵子	個人
14	深田 貴美子	個人
15	齋藤 理恵	個人

これから行う講座のお知らせ

■ 女と男のトレンド社会学

「千田有紀のおもしろ女性学／男性学」

- ・講師：武蔵大学教授 千田有紀さん
- ・9/11(土) 午後1:30～3:30
- ・むさしのヒューマン・ネットワークセンター

■ 幼児をもつ母親のための講座（全5回/月曜日）

- ・講師：お茶の水女子大学 牧野カツコさん他
- ・9/27、10/4、10/25、11/1、11/8
- ・午前10:00～12:00
- ・市民会館

■ DV防止講演会

- ・講師：土方聖子さん、竹内由紀子さん
- ・10/23(土) 午後1:30～3:30
- ・むさしのヒューマン・ネットワークセンター

- ・いずれも費用は無料。
- ・託児付きです。
- ・詳しくは…
ホームページや市報でお知らせします。

……今年も行きます、又エックへ……

毎年8月末、埼玉県武蔵嵐山町の国立女性教育会館で実施されるフォーラムに、むさしのヒューマン・ネットワークセンターは、昨年に引き続き今年も参加します。「武蔵野市の男女共同参画—私たちに課せられたこれからの取組み」のタイトルで、ワークショップを行います。

日時は8月27日(金)、15:30～17:30、306研修室です。昨年は「センターはあるけれど—いままでの10年とこれから」というタイトルでワークショップを開きました。今回はその後の1年について経過を振り返り、参加者と意見交換したり情報収集したりしたいと、運営者10人は張り切って準備しています。

ホームページをリニューアルしました!

What's New

～最新情報を随時更新!～

<http://www.mhnc.jp/>



所蔵図書を検索

…あの本はセンターにあるのかな?

企画・講座

…センターで行われる各種講座の情報 & 講座申込

センターだより「そよ風」

…バックナンバーの閲覧ができます

いま、どんな講座をやっているのかな?

施設利用案内

- ★会議室
- ★ミーティングスペース
- ★プレイスペース
- ★印刷スペース・・・

会議室の空き室情報 (随時更新)



ひとりで悩まずにまずは相談を...

女性の悩みごと相談 (いずれも無料)

■女性総合相談

※50分間まで面談・予約
第2木曜 (10:00～、11:00～)
第4火曜 (13:30～、14:30～)
場所・問い合わせ: 市民協働推進課

■母子・女性相談

毎週月～金 (9:00～17:00)
(祝日・年末年始を除く)
場所・問い合わせ: 子ども家庭課

市民相談係 (市役所2階)

☎60-1829
☎60-1921 (予約専用)

☎60-1852



● 会議室を利用するには...?

まずは... 団体登録

「会議室利用登録申請書」を提出

〔※武蔵野市市民協働推進課男女共同参画担当で、男女共同参画推進団体登録を行った団体は再登録の必要はありません。〕



登録規定を満たした団体は、名簿に登録



- ・1年間無料で月2回利用できる
- ・2ヵ月前から予約可能 (☎でもOK!)

※詳しくはセンターへお問い合わせください。

センター事務スタッフ紹介

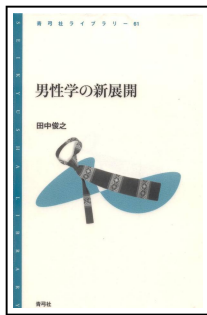
毎月1回事務連絡会議を行い、センターに関するあらゆる仕事について協議し、情報共有を図っています。また年1回、男女共同参画に関する研修もしています。一同、よりよいセンター運営に努力していきます。お気づきのことがありましたら、いつでもご意見お寄せください。よろしくお願いいたします。

今年はこの7人で頑張ります

金井 真人・高野 良美・齋藤 理恵
作部 径子・笹井 洋子・三上 美恵子
下村 美恵子(センター長)

図書紹介

むさしのヒューマン・ネットワークセンター所蔵図書の蔵書一覧が、ホームページ上でいつでも閲覧できるようになりました。お探しの本、以前から読みたかった本・・・見つかるかもしれません。どうぞご利用ください。



『男性学の新展開』

田中俊之 著

青弓社 2009

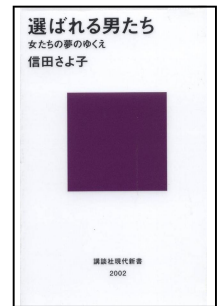
まだ男性学が学問として定着しているとは言い難い。昨今、男性問題とは何？と問い、男性性や男性の生き方が揺らいでいる日本の社会の断面を抽出している。女性学が女性の経験を理論化してきたように、男性学は男性の経験を理論化し得るのか。女性が読んでも面白い。

『選ばれる男たち』

—女たちの夢のゆくえ—

信田さよ子 著

講談社現代新書 2009



結婚で人生が大きく左右されてしまうことは女性ならほとんどの人が経験することが多い。その相手の夫たちから何が見えてくるのか。妻たちをカウンセリングした現場を通して、夫たちの姿を描き出している。男選びのソムリエ？と自称する著者の筆力が現実を見通していて興味深い。

＜男性問題に関するこんな本もあります＞

男性史 1 男たちの近代	阿部恒久 大日方純夫 天野正子
男性史 2 モダニズムから総力戦へ	阿部恒久 大日方純夫 天野正子
男性史 3 「男らしさ」の現代史	阿部恒久 大日方純夫 天野正子
＜男＞の未来に希望はあるか	細谷 実
男おひとりさま道	上野千鶴子
オトコが「男らしさ」を棄てる時	豊田正義
男の介護 48歳サラリーマンの選択	竹永睦夫
男の子って、どうしてこうなの？ まっとうに育つ九つのポイント	スティーヴ・ビダルフ
知って安心男の更年期	横山博美
男が語る男が聴く 男の電話相談	『男』悩みのホットライン

データが面白い

『平成22年版男女共同参画白書
—男女共同参画の現状と施策』

毎年6月に内閣府から発行されている国の男女共同参画社会の形成状況に関する年次報告です。

中でも特集されているさまざまな分野・領域のデータが時代を写し出していて面白く読めます。数字が物語る日本社会の現状を見ていくだけでも訴えるものがあります。ぜひ一度ご覧になってみてください。



図書貸出案内

- ・図書 3点まで
14日以内
- ・ビデオ 2点まで
7日以内
- ・DVD センター内設置のプレイヤーまたは専用PCでのみ再生、視聴できます
※貸し出しはしません

● センター利用案内 ●

開館時間：月・火・木・土曜日 9:30～17:00
水・金曜日 9:30～21:00

会議室利用時間

午前10:00～13:00 午後13:30～16:30

夜間17:00～20:30(水・金のみ)

※予約制(2か月前より可)・使用料無料

● 発行 ●

むさしのヒューマン・ネットワークセンター
武蔵野市境 2-10-27 武蔵境市政センター2階
電話/FAX 0422-37-3410

E-mail : mhnc@tokyo.email.ne.jp

ホームページアドレス <http://www.mhnc.jp/>